

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2020. 7. 13

下水道機構の『新技術情報』 第425号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

このたびの令和2年7月豪雨により被災された方には心よりお見舞い申し上げます。今後も各地で非常に激しい雨が降るおそれがあるようです。十分に注意して命を守る行動を最優先していただければと思います。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第425号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・今週はありません。

■機構の動き

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・今週はお休みです。

■ピックアップ！機構情報

- ・第71回下水道新技術セミナー
(下水処理場のエネルギー最適化に向けた取り組み)

■はしわたし

- ・横浜市環境創造局からの情報提供です。
中大口径管の包括的民間委託の導入に向け、「第三回サウンディング型市場調査」を実施します！
～第三回説明会を7月30日に開催！～

■国からの情報

- ・7/10付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

- 今週はありません。

。○。○。

機構の行事予定

。○。○。

●令和2年度 技術サロンの当面中止について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として4月から技術サロンの中止しておりますが、未だ予断を許さない状況にあることから今後の技術サロンにつきましても開催を見送ることといたしました。

大変申し訳ございませんが、ご理解・ご協力のほどよろしく願いいたします。

なお、再開や開催方法の変更にあたりましては、ホームページやメルマガ等で改めてお知らせいたしますので、よろしく願いいたします。

○「第26回 下水道新技術研究発表会」を7/30（木）にWEB配信形式で開催します！

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果等の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。

【WEB配信】令和2年7月30日（金）13:30～15:40
（会場）下水道機構ホームページ（特設ページ）
（定員）300名
（備考）閲覧にはお申込みが必要です

※プログラム、お申込みはこちら

→<https://www.jiwet.or.jp/workshop26>

○技術マニュアル活用講習会を7/31（木）にWEB配信形式で開催します

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術マニュアル等：

- 「効率的なストックマネジメント実施に向けた下水道用マンホール蓋の
設置基準等に関する技術マニュアル」
- 「雨水管理支援ツール（水位予測とアラート配信）に関する技術資料」
- 「プレキャスト式雨水地下貯留施設（壁式多連型）技術マニュアル〔改訂版〕」
- 「脱水汚泥の改質による省エネルギー資源化技術に関する技術資料」
- 「下水処理場における消費電力量の可視化に関する技術資料」
- 「下水処理場のエネルギー自立化に関する技術資料」

プログラムはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2020manual-program>

【WEB配信】令和2年7月31日（金） 13:30～16:25

（会場）下水道機構ホームページ（特設ページ）

【参加費】無料

※1. PDF版のテキストを配布いたします。

※2. 閲覧にはお申込みが必要です。

※3. 技術マニュアル・技術資料冊子版の特別販売は特設ページにて開催当日に行います。

【定員】300名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

→<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2020>

。 。 ○ 。
Tea Break （機構職員の感じるまま）

。 。 ○ 。

●今週はお休みです。

。 。 ○ 。

ピックアップ！機構情報

（下水道機構情報 Vol. 14 No. 30 2020. 1 冬季号の中から記事をご紹介します）

。 。 ○ 。

●第 71 回下水道新技術セミナー

（下水処理場のエネルギー最適化に向けた取り組み）

□最適化に向けた背景

原油価格の高騰や原発事故の影響等に伴う電力料金の値上がりにより、下水道事業における電力の購入量は年間約 1,000 億円となっています。これは維持管理費全体の約 10%に相当する金額であり、下水道事業者にとって負担となっています。

一方で、下水道は処理水や下水熱、消化ガスなどの様々な資源を有しており、これらを効果的に活用することで、利便性の確保や地域経済に貢献することが可能であり、政府全体の長期戦略の中にも汚泥の有効利用が明記されています。国交省でも下水汚泥を日本産資源と称し活用推進し、2020 年までに下水汚泥のエネルギー・農業利用率を現状の 35%から 40%へ向上させることを目標とした「下水道イノベーション～日本産資源創出戦略～」を策定しました。目標達成に向けては、特に中小都市の地域の生ごみや刈草などを集約してスケールメリットを発現させ、発電効率等を向上させることで、採算性のある事業を促進していくことが重要です。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2020-07-13-quarterly1>

※PDF を開けない方は以下の URL から該当する記事を右クリックし「対象をファイルに保存」した後に、保存したファイルを直接開いてください。

→ <https://www.jiwet.or.jp/quarterly30>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 18 号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter18>

下水道機構情報 Vol. 14 No. 30 2020. 1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly30>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 17 号はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter17>

下水道機構情報 Vol. 14 No. 29 2019. 7 はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly29>

下水道機構情報は こちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターは こちら から

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体は こちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。○。

はしわたし（みなさまの情報交流の場です）

。○。

●中大口径管の包括的民間委託の導入に向け、「第三回サウンディング型市場調査」を実施します！（神奈川県横浜市環境創造局）

横浜市の下水道管路施設は、今後、急速な老朽化の進行が見込まれており、予防保全中心の維持管理を実施しているところです。内径 800mm 以上の『中大口径管』については、維持管理業務をより迅速かつ適切に実施しストックマネジメントを推進するため、公民連携の一手法である包括的民間委託の導入について検討しています。

導入の検討にあたり、これまで2回開催した「サウンディング型市場調査」における民間企業の皆さまの参入意向や事業内容等に対するご意見を踏まえ検討した公募内容（素案）に関して、対話を通してさらに具体的なアイデアや意見等を調査するため、第三回サウンディング型市場調査及び交流会を7月30日（木）に開催します。

○申込期限 令和2年7月17日（金）17時まで

★詳細・申込はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi2020-07-13>

ぜひご参加ください。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

国からの情報

。○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2020.7.10の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

7月4日からの大雨により九州地方を中心に全国各地で記録的な豪雨となり、前線の活発な活動が依然続いています。

犠牲者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

災害対応にあたられている皆様におかれては、大変お疲れ様です。

今回の豪雨により、浸水被害による下水処理場やポンプ場の機能停止や内水氾濫も発生しました。

国土交通省では、令和元年東日本台風等を受けて、全国の地方公共団体に対し、「下水道の施設浸水対策の推進について」（6月2日付け国水下水事第13号）により、令和3年度までの下水道施設の耐水化計画の策定等を要請しております。

既に各地で検討を進められていると思いますので、令和3年度予算において耐水化のための整備や設計等の費用を計上していただくとともに、緊急的な取り組みが必要であることを踏まえ、今年度に前倒ししての実施を

ご検討いただくようお願いいたします。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 令和2年7月豪雨による被害状況等（国土交通省）
- 総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちとくらしをまもる防災減災～（国土交通省）
- 経済財政運営と改革の基本方針2020（仮称）（原案）について
- 国土交通省インフラシステム海外展開行動計画2020を決定（国土交通省）
- 参議院決算委員会の措置要求決議について

-
-
- 令和2年7月豪雨による被害状況等（国土交通省）

⇒（令和2年7月豪雨災害について）

https://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_200704.html

【下水道関係】（7月10日13時時点）

■処理場

（熊本県人吉市）

施設名	被害状況等	対応状況等
・人吉浄水苑	浸水のため処理機能停止	消毒処理により放流

■ポンプ場

（熊本県人吉市）

施設名	被害状況等	対 応 状 況 等
・矢黒町汚水中継ポンプ場	浸水のため排水機能停止	運転開始（一部）
・九日町汚水中継ポンプ場	浸水のため排水機能停止	運転開始（一部）
・中神町第一汚水中継ポンプ場	浸水のため排水機能停止	運転開始（一部）
・麓町汚水中継ポンプ場	浸水のため排水機能停止	運転開始（一部）
・宝来町雨水ポンプ場	浸水のため排水機能停止	機器点検中
・頭無川雨水ポンプ場	浸水のため排水機能停止	機器点検中

（福岡県大牟田市）

- ・福岡県大牟田市 三川ポンプ場 浸水のため排水機能停止 運転開始（一部）

■管渠・マンホール

- ・岐阜県岐阜市：雨水貯留槽の管理蓋損壊（貯留機能に問題なし）。

【TEC-FORCE（下水道部職員）による現地支援】

- ・熊本県人吉市（7/7～）

【日本下水道事業団による現地支援】

<https://www.jswa.go.jp/kisya/r02pdf/200706kisya.pdf>

○ 総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちとくらしをまもる防災減災～
(国土交通省)

国土交通省ではその総力を挙げて、抜本的かつ総合的な防災・減災対策の確立を目指すため、「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちとくらしをまもる防災減災～」を立ち上げました。

これまでの検討結果を具体的な施策として実行に移し、国民の命と暮らしを守るため、

7月6日(月)、「国土交通省防災・減災対策本部(第2回)」

(本部長:赤羽一嘉国土交通大臣)を開催し、プロジェクトのとりまとめを行いました。

また、流域治水プロジェクトの素案が水系ごとに公表されています。素案では、下水道の浸水対策は今後各流域の協議会等で検討としていますので、各地方公共団体におかれては、該当する流域のプロジェクトをご確認のうえ、下水道の耐水化を含む浸水対策全般を積極的に位置付けるようご検討をお願いします。

(防災・減災対策本部(第2回)会議)

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/bousai-gensaihonbu/2kai/index.html>

【主な下水道関係の記載】

3. 主要施策

・「流域治水」への転換、気候変動の影響を反映した治水計画等への見直し

(参考) 災害毎における主な課題と必要な対策

(1) 風水害における主な課題と必要な対策

・気候変動を踏まえた下水道による都市浸水対策

(2) 地震災害等における主な課題と必要な対策

・防災・減災、強靱化のため下水道の地震・老朽化対策

(流域治水プロジェクトについて)

https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/index.html

○ 経済財政運営と改革の基本方針2020(仮称)(原案)について

7月8日に経済財政諮問会議(議長:内閣総理大臣)が開催され、令和3年度予算編成に向けた経済財政運営と改革の基本方針2020(仮称)(いわゆる骨太方針)(原案)が審議されています。

(第10回経済財政諮問会議資料一覧)

<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2020/0708/agenda.html>

(経済財政運営と改革の基本方針2020(仮称)(原案))

https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2020/0708/shiryo_02.pdf

【主な下水道関係の記載】

第3章 1.(2)

・社会資本整備分野においてもデジタル化・スマート化

2.(1)⑤

・民間資金・ノウハウを積極活用し、コンセッションなど多様なPPP/PFIを

推進

⑥

・水道・下水道の広域化計画の中にシステム標準化を含むデジタル化の推進に

関する事項も盛り込むよう促すとともに、その実現に向け、都道府県が広域的な

地方自治体として、関係市町村と連携体制を構築し、主体的に取り組むよう求める。

民間知見の取込みのため、性能発注推進、PFI推進及びデータの地方自治体をまたいだ活用を推進する。

・地方公営企業について、公営企業の業務効率化とデジタル化を徹底して進めるとともに、

実情や費用対効果を踏まえつつ、全公営企業の公営企業会計への移行を5年以内に

実現することを目指し工程を明確化する。

(3) ①

- ・インフラ・ライフラインの耐災害性強化
- ・あらゆる関係者による流域全体での対策を実施
- ・「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を集中的に実施、その実施状況を踏まえ、国土強靱化の取組の加速化・深化
- ・3か年緊急対策後も、国土強靱化基本計画に基づき、必要な予算を確保
- ・感染症や災害への対応に係る公衆衛生や医療体制の強化

○ 国土交通省インフラシステム海外展開行動計画 2020 を決定（国土交通省）

国土交通省は、政府の重要な成長戦略であるインフラシステム海外展開を推進するため、

国土交通分野における今後取り組むべき主な施策や今後注視すべき主要プロジェクトを

取りまとめた、「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画 2020」を決定しました。

今年度は、SDGs や ESG 投資の重要度の高まり、データの活用やデジタル・トランスフォーメーション（DX）の加速化等の世界の急激な変化に対応するとともに、新型コロナウイルス

ウイルス感染拡大による今後の価値観の変容を見越した内容を充実させました。

また、下水道事業に関しては、水分野のなかで、市場の動向や我が国の強み・弱みを整理し、

今後の海外展開と具体的な取組等について記載しております。

さらに主要プロジェクトとして、ヤンゴン下水道整備事業を新たに追加しています。

⇒（報道発表資料）

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo05_hh_000232.html

○ 参議院決算委員会の措置要求決議について

参議院決算委員会は、6月15日に、平成30年度決算審査措置要求決議を行っています。下水道については以下の記載があります。

【14 下水道施設の耐震化・老朽化対策等の着実な推進について】

国土交通省は、第4次社会資本整備重点計画や防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策等に基づき、下水道施設の耐震化を進めているが、平成30年度末において、重要な幹線等の49%、下水処理場の63%がまだ耐震化されていない。

また、下水道施設の老朽化も進んでおり、管路の老朽化等に起因した道路陥没件数は30年度で約3,100件に上っている。

政府は、下水道施設が公衆衛生の向上や水質保全に欠かせない重要なインフラであるとともに、内水排除機能を有する防災施設でもあることを踏まえ、近年の頻発化、

激甚化している災害に備える観点からも、下水道施設を管理する地方公共団体に対して財政措置を含めた支援を強力的に実施し、下水道施設の耐震化、老朽化対策、内水対策等を着実に推進すべきである。

(決算に関する議決等)

https://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/kessan_ind.html

(平成30年度決算審査措置要求決議)

https://www.sangiin.go.jp/japanese/gianjoho/ketsugi/201/k028_20061501.pdf

【参考情報】

◆ 福岡、熊本で下水施設8カ所浸水 汚水処理が停滞、耐水化急務

<7/8 東京新聞 TOKYO Web>

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/41164?rct=national>

◆ 総力挙げ“流域治水”に転換/水系ごとの全体像 2020年度内に策定/国交省

<7/8 建設通信新聞 DIGITAL>

<https://www.kensetsunews.com/archives/470224>

◆ 去年の台風19号で浸水 多摩川の水門閉めるなど訓練 東京 狛江

<7/8 NHK NEWS WEB>

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200708/k10012504571000.html>

◆ 浸水被害の軽減に大きな効果「雨水貯留施設」

東日本台風では8カ所の貯留施設が満水に <7/1 ニフティニュース>

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12266-713712/>

◆ 市民守る巨大地下水路 岡南地区 内水氾濫防止へ建設進む <7/8 山陽新聞 digital>

<https://www.sanyonews.jp/article/1029598>

◆ 内水氾濫含むハザードマップ作成へ 名取川・阿武隈川流域の自治体〈宮城〉

<7/8 仙台放送>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f7219c0bcc69f11ac35ee721e8a2a26287db8bee>

◆ 環境水調査による新型コロナウイルスの下水からの検出 <7/1 国立感染症研究所>

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/9714-485p02.html>

◆ コロナ流行の兆候、下水でキャッチ 東北大などウイルス解析実験へ

<7/4 河北新報 ONLINE NEWS>

https://www.kahoku.co.jp/special/spe1211/20200704_02.html

◆ 帝人 汚水処理技術、B-DASH プロジェクトに採択

<7/3 日刊ケミカルニュース>

<https://chemical->

[news.com/2020/07/03/%E5%B8%9D%E4%BA%BA%E3%80%80%E6%B1%9A%E6%B0%B4%E5%87%A6%E7%90%86%E6%8A%80%E8%A1%93%E3%80%81b%E2%80%90dash%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88%E3%81%AB%E6%8E%A1%E6%8A%9E/](https://chemical-news.com/2020/07/03/%E5%B8%9D%E4%BA%BA%E3%80%80%E6%B1%9A%E6%B0%B4%E5%87%A6%E7%90%86%E6%8A%80%E8%A1%93%E3%80%81b%E2%80%90dash%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B8%E3%82%A7%E3%82%AF%E3%83%88%E3%81%AB%E6%8E%A1%E6%8A%9E/)

◆ 下水汚泥肥料で農業に活路 国も後押しで環境負荷軽減ねらう

<7/9 SankeiBiz>

<https://www.sankeibiz.jp/business/news/200709/bsc2007090500008-n1.htm>

◆ 国交省、インフラ輸出の行動計画 コロナ影響 相手国政府の債務負担軽減支援も
〈7/7 産経新聞〉

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0968a79a1f201190c93d43af74862250db091e4a>

※ 海外ニュース（協力：日本下水道協会）

◇ 下水によるコロナの疫学調査は国が先導すべき

〈Stat News 7/9〉（英文）

<https://www.statnews.com/2020/07/09/wastewater-testing-early-warning-covid-19-infection-communities/>

◇ 「トイレに流せる製品」が海洋のプラスチック汚染を引き起こしている

〈Treehugger 6/25〉（英文）

<https://www.treehugger.com/flushable-wipes-flush-plastic-into-the-sea-5069732>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>